



静岡県富士山世界遺産センター 開館記念展



富士山の曼茶羅



さんけい まん だ ら
～参詣曼茶羅にみる富士山信仰の世界～



平成29年 **12月23日(土)** ～ 平成30年 **2月12日(月)**

静岡県富士山世界遺産センターでは、富士山を対象に描かれた富士参詣曼茶羅6点の高解像度の複製を製作いたしました。今回の展示会では、その6点の作品を一堂に会して紹介をいたします。



静岡県富士山世界遺産センター

静岡県富士山世界遺産センター 開館記念展



富士山の曼荼羅



さんけい まん だ ら
～参詣曼荼羅にみる富士山信仰の世界～

皆さんは、参詣曼荼羅と呼び習わされている一群の宗教画をご存知でしょうか。参詣曼荼羅とは、主として16～17世紀にかけて、霊場（寺院・神社）への参詣を目的として制作された宗教的な案内絵図のことです。17世紀以降につくられた作品を含めて、全国40箇所以上の寺社におよそ150点ほどが現存しています。ただし、参詣曼荼羅は学術的に付けられた名称で、当時実際に呼ばれていた名称ではありません。

静岡県富士山世界遺産センターでは、富士山を対象に描かれた富士参詣曼荼羅6点の高解像度の複製を製作いたしました。今回の展示会では、その6点の作品を一堂に会して紹介いたします。

静岡県の富士山信仰は、主要街道である東海道が東西を横断していることが大きく影響しています。また、海に面していることから海上交通との関わりも持っています。東海道を利用し、特に東海地方から近畿地方を中心とする西国方面から、道者と呼ばれた富士山への参詣者が数多く訪れました。東海道を利用した道者は、基本的には富士山表口（大宮・村山口登山道）から富士山へと参詣していました。こうした点を背景に、富士参詣曼荼羅の各作品が誕生しています。これらの作品群は、全て富士山表口（大宮・村山口登山道）からみた景観を描く構図をとっています。

【紹介作品】

- ①富士曼荼羅（富士山本宮浅間大社所蔵、国指定重要文化財指定本原寸複製）
原図は絹本着色、縦186.6×横118.2cm
- ②富士浅間曼荼羅（富士山本宮浅間大社所蔵、静岡県有形文化財指定本原寸複製）
原図は絹本着色、縦91.5×横67.3cm
- ③富士参詣曼荼羅（静岡県立美術館所蔵本原寸複製）
原図は紙本淡彩、縦131×横67cm
- ④富士参詣曼荼羅（富士山本宮浅間大社所蔵本原寸複製）
原図は紙本淡彩、縦126×横103.2cm
- ⑤富士参詣曼荼羅（矢田原第三農家組合所蔵本原寸複製）
原図は紙本着色、縦128.5×横76.8cm
- ⑥富士参詣曼荼羅（天満山松栄寺所蔵本原寸複製）
原図は紙本着色、縦178.6×横144.6cm



静岡県富士山世界遺産センター

住所：〒418-0067 静岡県富士宮市宮町5-12
TEL. 0544-21-3776 FAX. 0544-23-6800
HP: <https://mtfuji-whc.jp>

開館時間 午前9時～午後5時まで
(7・8月は午後6時まで)

休館日 ・毎月第3火曜日（休日の場合は次の平日）
・施設点検日

※今年度の年末年始は、12月29日金～12月31日日の期間のみ休館し、翌年1月1日から開館の予定です。

観覧料	利用区分	観覧料	備考
	常設展	個人	300円
	団体	1人につき200円	・20人以上

※「富士山の曼荼羅」展は常設展観覧料でご覧いただけます。

